



アマミノクロウサギ
(撮影/常田守)

「奄美・琉球」エリアは、世界自然遺産候補暫定リストへの記載が決まるなど、豊かな自然に恵まれた地域です。ここに位置する奄美大島と徳之島に生息しているアマミノクロウサギの数は、推定で数千頭。しかしながら、森林開発や外来種のマングース、野犬、野生化した家ネコなど

絶滅の心配が高まる アマミノクロウサギ

アマミノクロウサギをご存じですか。奄美大島と徳之島のみに生息する国の特別天然記念物で、絶滅危惧IB類に指定されている希少なウサギです。私たちJALグループは、「エコ・ファースト企業」として、このアマミノクロウサギの保護にさまざまな力と協力をしています。今回は、その活動をご紹介します。

守ろう、アマミノクロウサギの森

アマミノクロウサギ/ムカシウサギと呼ばれる原始的なウサギの仲間。40～50cmほどの大きさで、目と耳が小さく、夜行性でシイの実、草などが主食です。1.5cmもある爪は強く、穴を掘るのに適しています。育児は成獣の巣穴とは別の穴で行われて、母親は毎晩授乳に訪れるようですが、詳しい生態はわかっていません。

「JALアマミノクロウサギの森」
JALグループは、アマミノクロウサギ・トラストで取得される28区画のうち、「JALアマミノクロウサギの森」と名づけて、一部区画の取得に協力します。将来的には、自然ガイド等とも連携して、自然観察会やアマミノクロウサギ・ナイトツアーなども実施し、奄美の観光振興にも役立てていく予定です。また、奄美大島路線を担当する日本エアコミューター（JAC）も、4月～6月の3カ月間、奄美大島着便機内、奄美空港内等で活動告知に協力します。

JALグループは、これまでもタシヨウをはじめ、さまざまな生物多様性啓発活動に取り組んできました。そして、今回は、奄美大島に就航する唯一の航空会社グループとして、アマミノクロウサギ・トラストに協力することといたしました。

JALグループは、アマミノクロウサギ・トラストへ参加

による捕食、車との接触などによって、絶滅の心配が高まっています。そこで、アマミノクロウサギのすみ森を取得して守り、貴重な自然を次世代に引き継ぐため、アマミノクロウサギ・トラストが立ち上がったのです。



公益社団法人
日本ナショナルトラスト協会
The Association of National Trusts in Japan



奄美大島へのアクセス

東京（羽田）、大阪（伊丹）、福岡、沖縄（那覇）、鹿児島などから、JALグループ便で奄美空港へ。

日本の美しい自然を 次世代へ繋げる取り組み

私たちJALグループは、空から見る地球がいつまでも美しくあるように、日本の美しい自然を将来に繋げていくために、これからも、ひとつひとつ、できることから取り組んでいきます。

「JMBみんなのアマクロ[※]の森」 チャリティ・マイル

JALマイレージバンク（JMB）会員の皆さまにも5月末までの間、JALチャリティ・マイルでのご協力を募ります。ぜひ一緒に「JMBみんなのアマクロの森」サポートにご協力ください。

※アマミノクロウサギの通称